



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場会社名 新光商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 8141 URL <http://www.shinko-sj.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 達哉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 一色 修志

TEL 03-6361-8111

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	20,814	△20.6	66	△81.3	67	△84.3	28	△91.1
2020年3月期第1四半期	26,212	△19.4	355	△45.6	430	△38.9	320	△28.2

(注)包括利益 2021年3月期第1四半期 124百万円 (△42.0%) 2020年3月期第1四半期 213百万円 (△68.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	0.77	—
2020年3月期第1四半期	8.36	—

(注)当社は、2019年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。また、1株当たり四半期純利益の算定に使用する期中平均株式数は自己名義所有株式数を控除する他、役員向け株式給付信託が保有する自己株式を、前第1四半期連結累計期間596,400株、当第1四半期連結累計期間594,000株および従業員向け株式給付信託が保有する自己株式を、前第1四半期連結累計期間397,600株、当第1四半期連結累計期間389,550株、控除して算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	73,304	49,137	66.2	1,310.79
2020年3月期	71,993	49,544	68.0	1,321.73

(参考)自己資本 2021年3月期第1四半期 48,529百万円 2020年3月期 48,932百万円

(注)当社は、2019年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	27.00	—	14.00	—
2021年3月期	—				
2021年3月期(予想)		14.00	—	14.00	28.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

(注)当社は、2019年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年3月期の第2四半期末配当金については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	44,000	△13.8	200	△72.3	200	△71.7	100	△79.5	2.70
通期	89,000	△12.4	500	△69.0	500	△71.8	300	△75.7	8.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	49,710,566 株	2020年3月期	49,710,566 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年3月期1Q	12,687,220 株	2020年3月期	12,688,620 株
------------	--------------	----------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	37,022,996 株	2020年3月期1Q	38,373,810 株
------------	--------------	------------	--------------

(注)

1. 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

2. 期末自己株式数には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式数が、2020年3月期594,000株、2021年3月期1Q594,000株、従業員向け株式給付信託が保有する当社株式数が、2020年3月期390,600株、2021年3月期1Q389,200株含まれております。

3. 期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式数が、2020年3月期1Q596,400株、2021年3月期1Q594,000株、従業員向け株式給付信託が保有する当社株式が、2020年3月期1Q397,600株、2021年3月期1Q389,550株含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響により急速に悪化しました。このため、エレクトロニクス業界においても市況の悪化が続きました。

このような状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、主要分野の産業機器関連・自動車電装機器関連・娯楽機器関連いずれも前年同四半期比で低調に推移しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高208億14百万円(前年同四半期比20.6%減)、営業利益66百万円(同81.3%減)、経常利益67百万円(同84.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益28百万円(同91.1%減)となりました。セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 電子部品事業

電子部品事業におきましては、売上高は167億3百万円(前年同四半期比17.8%減)となりました。

##### ① 集積回路

国内においては、産業機器関連は堅調に推移いたしましたが、自動車電装機器関連が低調に推移いたしました。

海外においては、自動車電装機器関連・OA機器関連が低調に推移いたしました。

以上の結果、集積回路の売上高は84億66百万円(前年同四半期比11.0%減)となりました。

##### ② 半導体素子

国内・海外ともに、自動車電装機器関連が低調に推移いたしました。

以上の結果、半導体素子の売上高は20億48百万円(前年同四半期比30.0%減)となりました。

##### ③ 回路部品

国内においては、娯楽機器関連は堅調に推移いたしましたが、自動車電装機器関連・産業機器関連が低調に推移いたしました。

海外においては、通信機器関連は堅調に推移いたしましたが、産業機器関連・自動車電装機器関連が低調に推移いたしました。

以上の結果、回路部品の売上高は32億3百万円(前年同四半期比15.4%減)となりました。

##### ④ LCD等

国内においては、自動車電装機器関連は堅調に推移いたしましたが、娯楽機器関連が低調に推移いたしました。

海外においては、OA機器関連・産業機器関連・自動車電装機器関連が低調に推移いたしました。

以上の結果、LCD等の売上高は2億33百万円(前年同四半期比67.5%減)となりました。

##### ⑤ その他電子部品

国内においては、産業機器関連・娯楽機器関連が低調に推移いたしました。

海外においては、産業機器関連は堅調に推移いたしましたが、自動車電装機器関連が低調に推移いたしました。

以上の結果、その他電子部品の売上高は27億51百万円(前年同四半期比18.3%減)となりました。

#### アッセンブリ事業

##### アッセンブリ製品

国内においては、娯楽機器関連が低調に推移いたしました。

海外においては、娯楽機器関連は堅調に推移いたしましたが、産業機器関連が低調に推移いたしました。

以上の結果、アッセンブリ製品の売上高は34億42百万円(前年同四半期比33.6%減)となりました。

#### その他の事業

##### 電子機器及びマイクロコンピュータのソフトウェア受託開発

国内において、ソフトウェア受託開発は、自動車電装機器関連向けに微減となりましたが、電子機器については低調に推移いたしました。

以上の結果、電子機器及びマイクロコンピュータのソフトウェア受託開発の売上高は6億67百万円(前年同四半期比7.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、733億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億11百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が6億11百万円、受取手形及び売掛金が43億67百万円減少したものの、商品及び製品が53億25百万円、未収入金が7億7百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、241億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億17百万円増加いたしました。これは主に、賞与引当金が2億14百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が5億13百万円、電子記録債務が8億92百万円、流動負債のその他が6億89百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は491億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億6百万円減少いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金が1億60百万円増加したものの、利益剰余金が5億3百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は66.2%（前連結会計年度末は68.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの影響が続き世界経済の長期にわたる停滞が懸念されるなど、不透明な状況が続くと思われまます。エレクトロニクス業界についても、世界経済の停滞を受け市況の悪化の継続が見込まれます。

このような環境のもと、当社グループの2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年5月15日に公表いたしました連結業績予想から変更はなく、連結売上高890億円、営業利益5億円、経常利益5億円、親会社株主に帰属する当期純利益3億円を見込んでおります。

当社グループにおきましては、今後も新型コロナウイルスの影響など経営環境の変化に的確かつ迅速に対応するため、新たな商流の確保などに対して着実な経営施策を実践してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	24,002	23,390
受取手形及び売掛金	20,525	16,158
商品及び製品	14,892	20,217
仕掛品	15	35
未収入金	6,706	7,413
その他	227	177
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	66,363	67,385
固定資産		
有形固定資産	855	954
無形固定資産	597	567
投資その他の資産		
投資有価証券	2,277	2,501
繰延税金資産	149	150
その他	1,752	1,747
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	4,176	4,396
固定資産合計	5,630	5,918
資産合計	71,993	73,304
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,232	11,746
電子記録債務	2,289	3,181
短期借入金	1,466	1,455
1年内返済予定の長期借入金	600	2,100
未払法人税等	279	124
賞与引当金	454	240
役員賞与引当金	41	4
子会社整理損失引当金	15	—
その他	2,008	2,698
流動負債合計	18,388	21,551
固定負債		
長期借入金	2,500	1,000
繰延税金負債	48	114
再評価に係る繰延税金負債	4	4
役員株式報酬引当金	103	103
従業員株式報酬引当金	97	97
退職給付に係る負債	1,021	998
その他	284	296
固定負債合計	4,059	2,615
負債合計	22,448	24,166

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,501	9,501
資本剰余金	9,788	9,788
利益剰余金	39,064	38,561
自己株式	△10,122	△10,120
株主資本合計	48,233	47,730
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	410	570
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	△50	△50
為替換算調整勘定	330	268
退職給付に係る調整累計額	9	9
その他の包括利益累計額合計	699	798
非支配株主持分	611	608
純資産合計	49,544	49,137
負債純資産合計	71,993	73,304

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	26,212	20,814
売上原価	23,777	18,838
売上総利益	2,434	1,975
販売費及び一般管理費	2,079	1,909
営業利益	355	66
営業外収益		
受取利息	13	6
受取配当金	33	30
為替差益	35	—
仕入割引	0	1
雑収入	15	33
営業外収益合計	98	71
営業外費用		
支払利息	18	16
為替差損	—	47
売上割引	0	0
雑支出	4	6
営業外費用合計	23	71
経常利益	430	67
特別利益		
投資有価証券売却益	56	—
特別利益合計	56	—
特別損失		
固定資産除売却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	487	67
法人税等	160	41
四半期純利益	326	25
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	320	28

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	326	25
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50	160
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△163	△62
退職給付に係る調整額	1	0
その他の包括利益合計	△112	98
四半期包括利益	213	124
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	209	127
非支配株主に係る四半期包括利益	4	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子部品事業	アッセンブリ 事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,308	5,186	718	26,212	—	26,212
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	20,308	5,186	718	26,212	—	26,212
セグメント利益	735	97	33	866	△511	355

(注) 1. セグメント利益の調整額△511百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△511百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門経費及び共通経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子部品事業	アッセンブリ 事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,703	3,442	667	20,814	—	20,814
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	16,703	3,442	667	20,814	—	20,814
セグメント利益	504	53	27	585	△519	66

(注) 1. セグメント利益の調整額△519百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△519百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門経費及び共通経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の消却)

当社は、2020年7月31日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却にかかる事項を決議しました。

消却予定の株式の種類	普通株式
消却予定の株式数	2,200,000株
消却予定の株式の総額	17億65百万円
消却予定日	2020年8月7日